

皐月を迎えて

分所長 高木敏彦

薫風さわやかな季節となりました。「コロナ禍がおさまり通常の祭典をすることができるようになり2年経ちましたが、数年間の行動制限のためにまだまだ様々な制約が残っています。その中でもマイ箸、マイボトルなどはモノを大切にするという精神にもかない良い習慣だと思いません。

最近、信者さんの葬祭を執行させて頂きまして痛感したことがあります。それは信仰の継続の重要性です。「自身は大本の信仰に入り感銘し宣伝使にまでなられたのですが、ご遺族が信仰の継続をされないために本葬が終了後に即、綾部の祖霊舎へ御霊様を移送せざるを得ないこととなりました。そうならないように、宣教は身近な親族を中心に真剣に取り組んで頂きたいと思えます。

病気の時の心がまえ

出口 直日

いくら一すじの信仰に生きることができましても、人間は肉体があるのですから、無理をすれば病気になることです。病気になるれば、お医者さんの世話になることです。そのためにお医者さんもあるわけです。けれど、医者も人間ですから、間違いということもありましょう。信用のある、評判の良い医者を選らぶことは当然です。生命にかかわる病気でもあれば、一人の医者

だけでなく二、三人の専門医を訪ねて診ていただくことです。その場合、やはり、まず神さまにそのことを奏上して、正しい診断のいただけるようにご守護をお願いすることが大切です。

お医者さんが早く手術した方がよいと言われるのであれば、早くしてもらいなさい。あまりためらっていると、かえって悪化してどうにもならなくなります。これは、お医者さんがいうのではない、神さまがおっしゃるのだと思われることです。手術の時も、これは医者の手ではない、神さまの手で切り除いてくださるのだと思うことです。神様におまかせして治していただく信じて、お医者さんにまかせることです。

医者から癌と診断されてしまうと、人間ですもの、その時は気持ちの動揺するのかもしれない方ありません。けれども、大本の信仰をさしていただいているのですから、心の動揺から早く立ち直って、神さまをしっかりと拝ましてもらい、うことです。できるだけ神言をくりかえし奏上してもらって、しつぷうにお願いされることです。これまで自分の心に、また体に無理をして来たことがわかれば、そうなったことをよくおわびして、「神徳をいただきつつ薬にさしていただくことです。医者がサジをなげた病気でも信仰で「神徳をいただく」とは、いくらでも実例のあることです。神さまにいつさいお任せさしていただくことができれば、すばらしいお蔭もいただけます。

「寸葉集より」

主な行事予定

- 5月11日(土) 午後1時より
碧南分所信徒総会・大祭準備
- 5月12日(日) 午前10時半より
碧南分所春季大祭・合同慰霊祭
- 5月19日(日) 午前10時より
三河本苑春季大祭・祖霊慰霊大祭
- 5月26日(日)
東海教区錬成道場 名古屋分苑にて
- 6月1日(土)
直心会・みどり会講習会 梅ジューズ作り
- 6月9日(日) 午後1時半より
碧南分所月次祭 担当第2班
- 6月16日(日)
皆神山記念祭典 長野主会・東海教区共催
- 6月23日(日) 午前10時より
三河本苑月次祭 綾の郷整備事業説明会
- 6月30日(日)
信徒の集い 三河本苑にて エンディングノート
の書き方講習会

5月の誕生者

おめでと〜うございます!!

藤浦 直 大塚 英志 高橋 まりな 1日 江坂
元康 2日 樫山 勲 5日 杉浦 康幸 6日 奥
谷 直人 12日 市古 圭一 14日 杉浦 梢 1
9日 粟津 よし子 20日 奥谷 文子 21日 蒲
生 ゆい 25日 高橋 直人 26日 朝野 元子
29日